

## 令和3年度第4回 府中市地域公共交通計画策定検討部会 会議録（要旨）

開催日時 令和4年3月3日（木） 午後3時から午後4時10分まで

開催場所 府中駅北第二庁舎3階小会議室

出席委員等 8名（名簿順）

岡村敏之委員、榎本聡委員、齊原潤委員、早田俊介委員、  
小泉裕樹委員、平野景一委員、小宅肇委員、松村秀行委員

欠席委員 1名

篠田貴宏委員

事務局

高橋都市整備部次長兼計画課長、松本計画課交通企画担当主幹、  
國分計画課長補佐、浅見計画課交通企画担当主査、荒井計画課事務職員

傍聴者 1名

議事次第

1 開会

2 議題

(1) 協議事項

ア 公共交通の課題抽出について

イ 地域公共交通計画の基本的な方針（案）等について

3 その他

4 閉会

## 会議概要

### 事務局

それでは定刻でございますので、ただいまから府中市地域公共交通計画策定検討部会を開会していただきたく存じます。

開会に先立ちまして、都市整備部次長の高橋よりご挨拶申し上げます。

### 事務局

委員の皆様、こんにちは。都市整備部次長の高橋でございます。本日はお忙しいなかお集りいただきまして、誠にありがとうございます。

本日の議題は、これまでの各種調査結果を踏まえた、本市における「公共交通の課題抽出」や「地域公共交通計画の基本的な方針（案）等」となります。

引き続き委員の皆様より貴重なご意見をいただければと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

### 事務局

なお、お手元に当日資料を配布しておりますので、ご確認ください。

（当日資料の確認）

### 事務局

以降の議事進行につきましては、部会長である岡村委員にお願いしたいと思ひます。それでは、岡村部会長よろしくお願ひいたします。

### 部会長

ただいまから、令和3年度第4回府中市地域公共交通計画策定検討部会を開会いたします。

まず、本日の委員の出席状況について、事務局から報告をお願いします。

### 事務局

（篠田委員の欠席を報告）

### 部会長

続きまして、傍聴者の有無について事務局から報告をお願いします。

### 事務局

（傍聴者がいることを報告）

### 部会長

傍聴希望者がおりますので、傍聴を許可してよろしいでしょうか。

（委員からの異議なし）

### 部会長

それでは、事前にお配りした次第に従ひまして議事を進めさせていただきます。

部会長

次第2「協議事項」の(1)「公共交通の課題抽出について」、事務局より説明をお願いします。

事務局

(資料1に基づき詳細説明)

部会長

それでは、資料1の課題抽出が以降の検討の基になるということですので、よく確認してください。事務局に確認ですが、今日で確定にしたいということでもいいですか。

事務局

できればこの場で了解をいただきたいですが、3月25日に協議会を開催しますので、修正箇所があれば早めに連絡いただければ対応したいと思います。

部会長

課題抽出の資料としてはおおむね確定させたいということですので、この場でご意見をいただければと思います。現状はこうであるという話と、それを基に課題や今後の方向性が書かれています。今後の方向性のところではそれなりに踏み込んだ書き方をしているところもありますので、書き過ぎていないか、もう少し踏み込んだ方がよいのではないかなど、よく見ていただきたいと思います。

委員

私が把握している課題等は概ね記載されていると思います。

質問なのですが、2ページから4ページまでマトリクスでまとめていただいている、右側の外部環境のところに「機会」と「脅威」があります。「機会」については明るい話がありますが、裏表として、「機会」のなかでも課題として対応を考えなければいけないことがありますので、「機会」であると同時に課題でもあるかもしれないという視点は必要だと思います。例えば電動キックボードや小型モビリティはまさしく「機会」なのですが、一方で交通安全の観点からは課題にもなりえます。

2点目に、4ページに「鉄道駅におけるホームドア整備率が令和3年度末現在で0%で、鉄道利用時の安全性に課題がある」との記載がありますが、ホームドア整備は安全を確保するための手段であって、ホームドアが整備されていなくても安全であればいいのではないかとも思えます。ホームドアの整備率が0%だから課題であるということではなく、整備率が0%だから安全性に問題があるという認識でよいでしょうか。

最後に、9ページの一番下に自転車の利用環境について記載されており、交通事故のうち約3割に自転車が関与しているということですが、3割が高いのか低いのか分かりません。例えば、東京都全体では1割しかないけれども、府中では3割もあるというような比較対象があれば教えていただきたいと思います。

事務局

「機会」の裏側として「脅威」や課題もあるということをご指摘のとおりだと思います。小型モビリティなどの導入や実証実験が進んでいる一方で、交通安全上の課題もあるというように、対になるような形で表現を修正したいと思います。

鉄道駅におけるホームドア整備につきましては、現状の整備率が0%だから鉄道が安全でないということではなく、さらなる安全性の向上を図るためバリアフリー化への対応の一環として、ホームドアの整備が進んでいくことを望んでいるということです。記載の表現については修正したいと思います。

自転車に関する交通事故については、資料1の31ページにバックデータを記載しています。下段の「公共交通の弱み」の欄をご覧くださいと、府中市内で発生した交通事故が319件あり、そのうち自転車が関与しているものが103件で、その割合が30%ということです。こちらは府中警察管内のデータで、都内など全体の割合と比べて割合が高いのか、低いのかについては、手元にデータがありませんので、確認のうえ表現を修正したいと思います。

部会長

ありがとうございます。他はいかがでしょうか。

バックデータは過去の協議会・部会の資料を基にしているとのことですが、いつ時点のデータか記載した方がよいです。例えばバスの運行本数のデータは、コロナ禍の影響により変わっていたり、本数が増えたところも一部にはあると思います。データを更新するのは大変ですので、いつ時点のデータかを書くだけでいいと思います。

もう一点、自家用車に関する記述をどう書くのかという話ですが、6ページ以降の「問題点・課題」のところで、例えば7ページの3のように、縁辺部を中心に公共交通空白部地域・不便地域が点在しており、自家用車や自転車がない市民にとっては利便性が低い状況なのは確かですが、自家用車がある人は問題がないということではありません。バスも含めた移動のサービスの維持・強化の検討が必要という他の方針と整合していないと感じました。脱炭素の観点から、縁辺部において自家用車利用率が高いということが課題なら、そう書けばいいと思います。

9ページには脱炭素社会の実現に向けた取組の検討が必要と書かれていますが、自動車利用から公共交通利用への転換をしたいということであれば、その方策はこの計画の全部の話なので、モビリティ・マネジメントで全部やるという話ではありません。これだけでは、公共交通利用への転換はモビリティ・マネジメントだけで行い、バス等の強化や維持は関係ないとも読めます。例えばモビリティ・マネジメントの前に、「公共交通サービスの維持・改善やモビリティ・マネジメントの実施などにより、転換を図る必要がある」と書いても問題はないかと思います。

事務局

ご指摘を踏まえて記載内容を見直します。

部会長

次に、「地域公共交通計画の基本的な方針（案）等」について、事務局から説明をお願いします。

事務局

（資料2に基づき詳細説明）

部会長

資料2については、先ほどの資料1に基づいて計画目標などが書かれていますので、引き続き議論したいと思います。

#### 委員

資料1は記載のとおりだと思のですが、計画の内容に移ると、基本的な方針のキーワードが3つ、移動の話と、まちづくりの話と、持続可能の話とある中で、計画目標は最後の 以外は「誰もが自由に移動できること」を常に主張しているように見えます。移動を良くしたいということが中心なのかもしれませんが、まちづくりとの連携となると、それが読み取れるような記載がないように思えます。例えば、移動ではなく、とどまること、滞在することというテーマがなければ、まちづくりとの連携という言葉が絵に描いた餅のようになってしまうのではないかと思います。

アクセスや移動ということに特化していくのであれば、基本的な方針の書き方も変わってくるかと思えます。あるいは、この3項目を方針にするのであれば、計画のキーワードの3項目に、計画目標がどのようにぶら下がるのか、分かりやすくした方がよいと思えました。

#### 事務局

基本的な方針のキーワードとして掲げていることと、その下の計画目標とのつながりということですが、例えば、計画目標の の市内各所から中心部へのアクセスの向上が、中心市街地の活性化というまちづくりと連携するということのように、基本的な方針が各計画目標の中にばらけて対応しています。この部分の整理としては、計画目標の から はどちらかということと移動のモード、移動手段に特化した記載の仕方をしており、計画目標の 、 については、基本方針の の誰もが自由に移動できるという部分の記載と対応しています。 の交通サービスを将来にわたり提供できるというところは、基本方針 のまちづくりとの連携や、 の持続可能な公共交通という視点と対応しています。それぞれちりばめているような形で、基本的な方針と計画目標が単純にイコールになるような整理はしていません。

#### 部会長

この点について、皆さんいかがでしょうか。

#### 委員

上位関連計画に基づくキーワードなので、このキーワードと計画目標がどのようなつながりがあるのか、もう少し分かりやすくされたほうがよいと思えます。ちりばめるのであれば、対応関係を整理した方が市民の皆さんも分かりやすいかと思えました。

#### 事務局

基本方針と計画目標の対応が見えるように修正したいと思います。

#### 部会長

まちづくりにもいろいろありますが、関連計画の内容が計画目標の中に入るというよりは、例えば、この計画目標が「都市計画に関する基本的な方針」に書かれている内容とどういう関係にあるというような形で書く必要があると思えます。計画目標の中というよりは、その外側にあってどのような関係になっているかということです。1つ手前の1ページ目に上位計画、関連計画と書いてありますが、具体的にどのようにつながっているのかということを入れることは考えられます。

また、狭い意味での交通だけではとどまらない話も計画に入れるとすると、例えば、自転車は公共交通計画には入っていないことが多いですが、公共交通の問題・課題に自転車のことが書いているというのは、実は結構大きな話です。せっかく問題・課題

に書いてもらっているのですが、公共交通計画の観点から自転車をどう考えるのかということについて、検討いただいてもいいかという気がしました。

#### 委員

大きく2つほどあります。まず1つ目に、5ページの「サービス領域の考え方」が急に出てきていますが、その中でも、横軸が「自力で外出することが困難」、「歩行が困難」、「困難なく外出することができる」と分かれており、「歩行が困難」のところに子育て世代と高齢者が入り、「地区内交通」が対応しています。横軸を細かくするのがいいかどうか分からないですが、ざっくりと整理され過ぎているという印象を受けます。5ページを入れるのであれば、もう少しいろいろと書き下しがあった方がいいという印象を受けました。

また、ハッチ掛けになっている「公共交通・福祉分野の垣根を超えた移動サービス」も唐突な印象を受けます。

もう1点目が、6ページのところで、公共交通計画等を作るときに、いろいろな施策をやった効果が数年後にどれくらい達成できたかということ、アウトカム指標などで定量的に計測することがあると思いますが、その予定があるのかどうかということです。もし定量的に計測するのであれば、例えば計画目標（案）の「効率的・効果的に確保する」という目標を、どのように定量的に計測するのか、後から難しくなるのではないかという気がしました。

#### 部会長

5ページの図の話と、計画目標に続く具体的なアウトカム指標、定量指標との関係についてです。事務局いかがでしょうか。

#### 事務局

5ページについては、ご指摘のとおり、この図はかなりざっくりとした表現で説明しているので、誤解を招く恐れがありますので、図示するかも含めて再検討します。また、ハッチを掛けている「公共交通・福祉分野の垣根を超えた移動サービス」については、今後福祉部局との調整が必要であり、具体的な移動サービスも決まっていますので、表現を精査したいと思います。

計画目標と連動した定量的な指標についてもご指摘のとおりですが、次年度以降の施策の検討にあたって、具体的な指標などもご提示したいと思います。今の時点では指標まで整理できていませんので、今後調整のうえ、整理していきたいと考えています。

#### 部会長

ありがとうございます。今の2点に関連した意見がありましたら、ぜひここで受けたいと思います。

#### 委員

移動のモードは目的地などの違いによって出てくるかと思います。福祉は違うのかもしれませんが、人の属性によってモードを分けるというのは少し難しいと感じました。縦軸と横軸の違いがよく分からず、両方とも人の属性や特徴になっていて、整理の仕方や意図が分かりにくいと思いました。結論としては、「公共交通・福祉分野の垣根を超えた移動サービス」を考えていかなければいけないということを言いたいのだと思いますが、これが必要な理由や必然性がこの表だけでは見えてきません。この

移動サービスが必要な理由が何なのかということがもう少し伝わるといいと感じました。

#### 部会長

ネットワークの話ではないので書きにくいかもしれませんが、確かに「公共交通・福祉分野の垣根を越えた」という表現が出てくるのは、この5ページが初めてです。5ページのような形にするのがいいのかも含めて、検討をしていただくということでしょうか。

#### 委員

福祉分野と公共交通分野が融合して一緒にやっていきましょうということであれば、例えば、それぞれのマスタープランや方針が重なっているところと重なっていないところを示して、もっと包括的にやっていくというような書き方が分かりやすいという気がしました。

#### 事務局

資料2の2ページの計画目標で、「まちづくりや福祉分野との連携を図る」という記載をしていますが、具体的な記述がないため、唐突感が出てしまっているのかと思います。福祉でやっている移動支援のサービスと公共交通の間の連携が不十分な部分をなるべく解消して、より良い交通サービスの提供ができるようにという意図で記載しています。5ページの表現については、整理、見直しをしたいと思います。

#### 部会長

ありがとうございます。それでは整理をお願いします。他はいかがでしょう。

3ページの真ん中の階層の考え方について、これを以後計画でどのように使っていくかによろしいと思いますが、地区間と地区内と広域で分けるというのは概念としては分かりやすいのですが、市内のある地区から隣接市の中心まで行く、例えば市の北部からバスで国分寺や武蔵小金井に出るのは、ただ行政界が違うだけで、その市民にとっては広域交通ではなく地区間交通なのだろうと思います。例えば基幹的なバス路線であれば、同じ路線が、地区内交通も関わってきますが、地区間、広域の両方を担当していて、不可分となっています。資料のような階層の分け方がいいかどうかは、この概念の使い方によろしいと思いますので、考えていただくとよいと思います。概念として出てくるだけでその後あまり使わないということなら、このままでもいいかもしれませんが、検討してください。

なお、まちづくりといったときに、範囲はどこを指しているかという問題もありますが、具体的な計画としては福祉とまちづくりは分けた方がいいという感じもします。

最終的には6ページがどうなるかということになりますが、他にはよろしいですか。恐らく本会議でもいろいろ議論になるのではないかと思いますので、その際にもご意見があれば是非お聞かせください。

#### 委員

もしお考えがあれば教えていただきたいのですが、今後、シェアサイクルやキックボードのような、個人向けの移動手段が入ってくると、交通事業者としては、ライバルではないのですが、連携の仕方は非常に難しいけれども、連携が求められるだ

ろうという感覚はあります。これらは今後どのような扱いになるのでしょうか。電動キックボードも公共交通の一つになるのですか。

事務局

資料2の3ページ、公共交通拠点の考え方一番下にあるモビリティハブにおいてなど、バスなどよりもう少しコンパクトな移動方法として、電動キックボードなども一つの手段であるとは考えています。それをこの計画の中でどこまで記載するのかということは議論があるかと思いますが、既存のものとは別の新しい移動手段として電動キックボード等も考えています。

部会長

これはきちんと考えると大変な問題です。事業者ごとに自由にやってくださいということであればあえて書く必要はないのですが、例えば国立あたりでも、JRの高架下などに大きなシェアサイクルがあり、かなり活用されているのではないかと想像しています。現時点で府中駅周辺にそのような場所はないので、問題にはならないかもしれませんが、民地を活用したりすると、100台ぐらいはすぐ置けるのだらう思います。

ただ、数百台ぐらいのシェアサイクルがまちの真ん中にあるということが、公共交通や道路空間の活用として良いか悪いかということは、この計画の中で何らかの方向性を出しておくという考え方はあり得ると思います。やらなければいけない訳ではありませんが、バス事業者としては深刻な問題となる面もあるでしょう。

委員

お言葉を借りればライバル、競合ではあります。

部会長

とは言いながら、自転車とバスの使い分けについて公式に意見を言える場はなく、あるとしたら、この地域公共交通計画の中だけです。踏み込み過ぎると、自転車をやめてほしいという誤ったメッセージとなってしまうので、その点には注意しながらも、地域公共交通計画において記述したほういいかもしれません。それはこの部会だけではなく、本会議でも議論をできるとよいと思います。キックボードも当然同様かと思っています。

委員

電動キックボードなどの話は交通事業者にとって課題ではあるのですが、交通安全の問題の方が非常に不安が大きいです。今、国立駅の話をして、もし府中駅も同じようになった場合、現状でも飛び出しなど自転車の危険が多いため、それがキックボードになったときにどうなるのだらうという怖さがあります。

新たな移動モードという面と同時に、交通安全の話もきちんと議論する必要があると思います。

部会長

ありがとうございます。難しい問題ですが、ぜひ検討してもらいたいと思います。

他はいかがでしょうか。特になければ、資料2については、今日のご意見を踏まえて加筆・修正をしていただいたうえで、本会議に出すということで、了承としてよろ

しいですか。

(異議なし)

部会長

ありがとうございます。そうしましたら、次は「3 その他」になります。ご説明をお願いします。

事務局

3月25日の午後2時から地域公共交通協議会の開催を予定しています。本日、資料に関して様々なご意見をいただいたので、これらについて修正したものを協議会でも議論していただきたいと思います。なお、年度内の部会はこれで終了となります。

部会長

ありがとうございます。全体を通して何か皆さんからありますか。

委員

(発言なし)

部会長

それでは、本日の部会を閉会します。皆さん、どうもありがとうございました。

以 上